

**「日本語教育の参照枠」補遺版の検討に関するワーキンググループの進め方****○経 緯**

国内外の日本語学習者が日本語の習得段階に応じて求められる日本語教育の内容及び方法を明らかにし、外国人が適切な日本語教育を受けられ、評価できるようにすることを目的として、「日本語教育の参照枠」一次報告、二次報告を第 20 期日本語教育小委員会において取りまとめた。令和 3 年度にはこれらを併せて「日本語教育の参照枠」最終報告として国語分科会において取りまとめるとともに、「日本語教育の参照枠」の活用に関するワーキンググループにて、「日本語教育の参照枠」の活用のための手引き」を取りまとめた。

**○目 的**

「日本語教育の参照枠」の基となっているヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）は 2001 年に公開され 20 年以上が経過した。その後、近年における欧州における言語教育環境の変化等に対応する言語能力記述文（Can do）などを示した補遺版が 2018 年、2020 年に公開された。

本ワーキンググループでは、主に補遺版で示された言語能力記述文（Can do）等を日本語教育の文脈においてどのように扱っていくのかについて検討し、「日本語教育の参照枠」補遺版について検討を開始する。

**○方 法**

小委員会の下にワーキンググループを設置し検討を行う。同ワーキンググループは、検討内容を日本語教育小委員会に随時報告する。

**○検討事項**

- (1) 補遺版で新たに設置されたレベル（Pre-A1）について
- (2) 補遺版で説明が追加されたレベル（A2.2、B1.2、B2.2）について
- (3) 補遺版で新たに示された言語能力記述文（Can do）について

**○開催スケジュール**

- |       |                |                 |
|-------|----------------|-----------------|
| 第 1 回 | 6 月 1 0 日（金）   | 15 : 00-17 : 00 |
| 第 2 回 | 7 月 1 5 日（金）   | 15 : 00-17 : 00 |
| 第 3 回 | 9 月 2 1 日（水）   | 15 : 00-17 : 00 |
| 第 4 回 | 1 1 月 1 1 日（金） | 15 : 00-17 : 00 |
| 第 5 回 | 1 月 1 3 日（金）   | 15 : 00-17 : 00 |

\* 令和 5 年度も継続審議予定

## ○令和4年度の審議スケジュール

### 第1回（6月10日（金）15：00-17：00）

#### （1）ヒアリング

- ・国内の日本語教育及び外国語教育における CEFR-CV の受容について

#### （2）審議事項

- ・CEFR-CV の日本語教育への文脈化について

### 第2回（7月15日（金）15：00-17：00）

#### （1）ヒアリング

- ・フランスにおける CEFR、CEFR-CV の受容について

#### （2）審議事項

- ・CEFR-CV の諸概念の整理について

### 第3回（9月21日（水）15：00-17：00）

#### （1）ヒアリング

- ・高度外国人材における CEFR-CV の活用について

#### （2）審議事項

- ・CEFR-CV の諸概念の整理について

### 第4回（11月11日（金）15：00-17：00）

#### （1）ヒアリング

- ・教員養成と CEFR、CEFR-CV について

#### （2）審議事項

- ・日本語教育人材の養成・研修の在り方と CEFR、CEFR-CV について

### 第5回（1月13日（金）15：00-17：00）

#### （1）審議事項

- ・「日本語教育の参照枠」補遺版を編集する上での課題の洗い出しと整理

## CEFR(2001)、CEFR(2020)と、「日本語教育の参照枠」等及び本ワーキンググループにおける検討事項との関連について(案)

CEFR(2001)目次	
第1章	CEFRの政治的および教育的背景
第2章	CEFRの理論的背景
第3章	共通参照レベル
第4章	言語使用と言語使用者/学習者
第5章	言語使用者/学習者の能力
第6章	言語学習と言語能力
第7章	言語教育における課題とその役割
第8章	言語の多様性とカリキュラム
第9章	評価
付録A	言語熟達度の記述文の開発
付録B	能力記述文の例示的尺度

「日本語教育の参照枠」目次	
「日本語教育の参照枠」の検討経緯	
I	1 現状
	2 課題
	3 「日本語教育の参照枠」が目指すもの
	4 「日本語教育の参照枠」が枠組みとしてCEFRを参考にすることについて
「日本語教育の参照枠」について	
II	1 構成
	2 日本語能力観と六つのレベル
	3 全体的な尺度
	4 言語活動ごとの熟達度
	5 活動Can do一覧
	6 方略Can do一覧・テキストCan do一覧
	7 能力Can do一覧
	8 漢字を含む文字の扱いについて
	9 「日本語教育の参照枠」の今後に向けた検討課題
日本語能力評価について	
III	1 「日本語教育の参照枠」における言語教育観に基づく評価の三つの理念
	2 「日本語教育の参照枠」における日本語能力観及び評価の考え方
	3 日本語能力判定のための試験について
参考資料	1 言語能力記述文の作成方法及び検証手法に関するガイドライン
	2 話し言葉の質的側面
	3 JF日本語教育スタンダードについて
	4 就労場面で必要な日本語能力の目標設定ツールについて
	5 評価の種類
	6 日本語の能力判定に係る試験一覧
	7 参考文献
	8 「日本語教育の参照枠」取りまとめまでの沿革
	9 文化審議会国語分科会委員名簿及び審議経過等

「日本語教育の参照枠」の活用のための手引き 目次	
「日本語教育の参照枠」とは	
第1章	1. 「日本語教育の参照枠」とは
	2. 言語教育観、日本語能力観について
	3. 言語能力記述文(Can do)について
	4. 日本語能力の評価について
Can doをベースにしたカリキュラム開発の方法	
第2章	1. コースデザイン
	2. 評価
Can doをベースにしたカリキュラムの事例	
第3章	1. 生活: 地域日本語教育における県の事例
	2. 留学: 法務省告示校の事例
	3. 就労: 定住外国人に対する就職支援事業実施機関の事例
参考資料	1. 「日本語教育の参照枠」全体的な尺度
	2. 「日本語教育の参照枠」言語活動ごとの熟達度

CEFR(2020)目次	
第1章	序章
第2章	教育と学習のためのCEFRにおける重要な側面
第3章	CEFRの例示的言語能力記述文: コミュニケーション言語活動と方略
第4章	CEFRの例示的言語能力記述文: 複言語・複文化の能力
第5章	CEFRの例示的言語能力記述文: コミュニケーション言語能力
第6章	CEFRの例示的言語能力記述文: 手話能力
付録	1 CEFRレベルの顕著な特徴
	2 自己評価表(オンラインでのやり取り、仲介)
	3 話し言葉の質的側面(音素の把握)
	4 書き言葉の評価表
	5 オンラインでのやり取りと仲介活動についての 言語能力記述文の様々な領域での使用例
	6 例示的言語能力記述文の開発と検証
	7 2001年版の言語能力記述文の変更
	8 補足的な言語能力記述文
	9 新しい言語能力記述文に関する参考文献
	10 オンラインに関する参考文献

本ワーキンググループでの検討事項	
第1回(6/10)	
(1)国内における就労者に対する日本語学習の目標設定	
(2)国内の英語教育におけるCEFR及びCEFR-CVの受容	
・CEFR-CVで設けられた新たな言語活動及びレベルについて	
第2回(7/10)	
(1)フランスにおけるCEFR及びCEFR-CVへの批判	
(2)成人移民に対するフランス語教育と評価	
・複言語、複文化能力について	
・在住外国人に対する入門期の言語学習について	
第3回(9/21)	
(1)高度外国人材に求められる「仲介スキル」	
(2)高度外国人材に求められる「オンライン業務スキル」	
第4回(11/11)	
(1)ドイツにおけるCEFR及びCEFR-CVの受容	
(2)ドイツにおける教員養成について	
第5回(1/13)	
・「日本語教育の参照枠」補遺版取りまとめに係る論点整理	